



令和 8 年度（2026年度）北海道浜頓別高等学校経営シラバス

学校教育目標

- (1) 多様な価値観を認め、物事の本質を見極める力を養う
- (2) 困難を克服して自己実現を図ろうとする強い心を養う
- (3) 協働してよりよい社会や新たな価値観をつくる力を養う

スクール・ミッション

- (1) 多様な価値観を受け入れ、互いの良さを認め合うことのできる豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- (2) 向上心を 持ち、主体的に課題解決のために取り組むことのできる生徒の育成
- (3) 自分の在り方・生き方を深く考え、自身の社会的役割を認識しながら地域の未来を担うことのできる生徒の育成

校訓

厚情・自律・愛郷

スクール・ポリシー

コンピテンシー・ポリシー

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 寛容で思慮深い人 | ～ 受容力 |
| (2) 志を立て、気概を持って行動する人 | ～ 主体性 |
| (3) 郷土を愛し、未来を創る人 | ～ 使命感 |

生徒三是

カリキュラム・ポリシー

- (1) 基礎・基本の確実な定着を図り、それらを活用した思考・判断・表現の力の育成を目指す
- (2) 進路希望や興味・関心に対応した教育課程を編成し、生徒が意欲的に取り組む授業を展開する
- (3) 地域の教育力や教育資源を積極的に活用し、探究や体験学習を重視した教育活動を展開する

アドミッション・ポリシー

- (1) 他者との関わりを通して様々な価値観に触れ、互いを尊重する人間関係を築こうとする生徒
- (2) 自ら考え、向上心を持ち、目標に向かって粘り強く取り組もうとする生徒
- (3) 社会の一員としての役割を考え、よりよい社会づくりに協働しながら取り組もうとする生徒

重点目標

- (1) 信頼関係を築きながら、多様な価値観を受け入れる寛容さを身に付けさせるとともに、自己管理能力を高める。
- (2) 生徒個々の状況に合わせた適切な目標を設定し、主体的に目標に向かって粘り強く学習や進路活動に取り組ませる。
- (3) 探究学習を深化させ、広い視野で建設的に課題を捉え、自らのキャリア形成に役立てさせる。

	対象	中期目標	今年度の目標	自己評価のための観点
教育活動	学習指導	○基礎学力の定着 ○自ら学ぶ態度の育成	(1) 生徒の学習意欲を高める授業の実践 (2) 生徒個々の状況に対応した学力の伸長 (3) 適切な見取りと指導の改善との一体化を図る評価の推進	(1) 自ら学ぶ姿勢を生徒に身につけさせるため、適度な課題を与え、家庭学習の充実に努めているか。 (2) 生徒の学力・学習状況を把握し、個に応じた指導を適切に行っているか。 (3) 考査や単元テスト、普段の取組などをもとに適切に評価を実施しているか。
	生徒指導	○自他を認める健全な心の育成 ○社会性の醸成	(1) 他者を認める心や協調性、規範意識を高める指導の充実 (2) 生徒の主体性を高める特別活動の充実 (3) 地域や保護者と連携した共感的な生徒指導の充実	(1) 生徒の規範意識や他者を認める意識を高め、安心して学べる環境が保たれているか。 (2) 学校行事や部局活動へ主体的に取り組むことができる環境がつけられているか。 (3) 保護者と情報を共有して、いじめや問題行動などに適切に対応しているか。
	進路指導	○進路実現に主体的に取り組む態度の育成 ○系統的なキャリア教育の充実	(1) 自己理解を促し、可能性の伸長を主眼にした指導の充実 (2) 探究活動に基づくキャリア教育の充実 (3) 組織的かつ系統的な指導の充実	(1) 生徒一人一人の能力・適性を把握し、進路希望を踏まえた指導を行っているか。 (2) 地域教育活動を効果的に実施し、社会人や職業人としての意識を高められているか。 (3) 進路に関する情報を提供し、生徒の進路に対する意識を高められているか。
	健康安全指導	○安全教育の充実 ○心身の健康増進	(1) 自他の生命尊重を基礎とした安全指導の充実 (2) 自己管理能力の向上を目指す健康指導・教育相談体制の充実	(1) 防災や防犯、交通安全に係る適切な教育を実施し生徒の安全に配慮した判断力や行動力を高めているか。 (2) 生徒の健康や安全について適切に情報提供や指導を行い、生徒の健康に対する意識を高めているか。
学校運営	信頼される学校づくり	○地域から支持され、地域とともに歩む学校づくり	(1) 学校だよりや報道記事、HPを活用した積極的な情報発信 (2) CSを活用した保護者や地域との連携の推進	(1) 広報やHPなどを通して本校の教育活動に係る情報を発信し、地域の声に耳を傾けているか。 (2) PTA活動や地域との交流を行い、連携を図っているか。
	組織運営	○協働的で持続可能な業務の確立	(1) 協働した業務の実現 (2) 業務のICT化など働き方改革の推進 (3) 組織の機動性の向上	(1) 周囲と情報を共有し、協働しながら業務を行うことができたか。 (2) 計画的かつ効率的に業務を行い、時間外勤務を削減することができたか。 (3) 学校の課題を意識し、改善のために自らの役割を果たしているか。
	教職員の資質向上	○研修の充実 ○教員としてのキャリア形成	(1) 校内外の研修の推奨 (2) 学校職員人事評価制度の活用 (3) 服務規律の徹底	(1) よりよい授業を目指して、積極的に研修を行い、自らの資質・能力の向上に努めているか。 (2) 自己の適性や経験に応じた目標を定め、学校職員としての資質・能力を高められたか。 (3) 公務員としての使命感や責任感に基づき、信頼される言動をすることができたか。